

エコアクション 21

# 2022 環境経営レポート

(対象期間：2022 年 8 月 1 日 ～ 2023 年 7 月 31 日)

作成日：2024 年 3 月 4 日

株式会社ツルタック



TSURUTAC

# 1. 環境経営方針

## 基本理念

わたしたちは、徹底したサービスでお客様の繁栄と社員の幸せづくりを目指しており、この経営理念に基づき、地球環境に配慮した事業活動と製品の提供をめざし、高い「環境品質」と「顧客満足度の向上」を実現することにより、社会の持続可能な発展に貢献します。その実現のため、全員 参加・一致協力して、事業活動に取り組んでいきます。

## 活動指針

### 1. 省エネ推進によるCO2削減への取り組み

- ・消費電力削減、営業車のガソリン削減、燃料等の削減・節水に取り組めます。
- ・環境に配慮した事務用消耗品の使用

### 2. 環境に対するコミュニケーションを拡大

- ・消耗品などの物品購入においてもエコロジーを強く認識し、購入先やビジネスパートナーとともに可能な限り循環型社会に貢献します。

### 3. 環境に配慮した製品の開発、販売促進

- ・県認定のリサイクル製品の提供促進(秋田杉圧縮製品、秋田杉間伐材製品)

### 4. 環境関連法規等を遵守し、社内で定められた環境方針についてはその取り組みを徹底します。

改訂日: 令和2年11月11日  
代表取締役 鶴田 真理子

## 2. 組織の概要

### 名称及び代表者名

株式会社ツルタック

代表取締役 鶴田 真理子

### 所在地と連絡先

〒013-0032 秋田県横手市清川町10-4

TEL: 0182-32-0220 FAX 0182-32-0224

Email : tsurutac@po.tsuruta.co.jp

担当者 : 環境管理責任者 大山 輝雄

### 事業概要

事務機器、オフィス家具、健康医療機器、ネットワーク構築、  
福祉システム販売

### 事業の規模

事業年度	2020年 2020.8～2021.7	2021年 2021.8～2022.7	2022年 2022.8～2023.7
売上金額(千円)	476,000	478,000	466,000
従業員数(人)	19	18	18

注)売上金額は、当社会計年度(当年8月～翌年7月)による。

### 3. 対象範囲と対象取組期間

全組織・全活動

#### 対象取組期間

2022年 8月1日～2023年 7月31日

次回発行予定 2024年11月

### 4.環境経営目標

#### 4-1. 環境経営目標と環境経営目標の実績

2022年度(2022.8月～2023.7月)当社における主な環境負荷の実績は下記に示す通りです。

二酸化炭素排出量(Kg-CO <sub>2</sub> )			廃棄物排出量(kg)		総排水量 (m <sup>3</sup> )	
電力(係数:0.592)	ガソリン・軽油	灯油・LPG	一般廃棄物	産業廃棄物		
48,752	34,974	7,017	0	4,643	409	

#### 4-2. 環境経営目標(短期・中長期)の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の必須3項目ならびに自主設定項目について、

単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2022年度(2022.8月～2023.7月)	2022～2024年度(3年間)
◆二酸化炭素排出量	101,507	2021年度同期比3%削減
◆廃棄物排出量	5,199	15,756
◆総排水量(水使用量)	392	2021年度同期比3%削減

#### 4-3. 2022年度(取組対象期間)環境経営目標値

4-2. の考え方に従って、2021年度実績値を基に、2022年度(2022.8月～2023.7月)の

具体的目標値(暫定)を下記のように算出しました。

	2021年度実績 (2021.8月～2022.7月)	2022年度目標 (2022.8月～2023.7月)
◆二酸化炭素排出量	93,699Kg-Co2	92,762Kg-Co2
1) 電力	48,774Kg-Co2	48,286Kg-Co2
2) 灯油、LPG	7,777Kg-Co2	7,700Kg-Co2
3) ガソリン、軽油	37,148Kg-Co2	36,776Kg-Co2
◆廃棄物排出量	4,823Kg	4,775Kg
◆総排水量(水使用量)	409m <sup>3</sup>	405m <sup>3</sup>

## 5.主な環境活動計画

### 5-1.二酸化炭素排出量の削減

#### 1)電力使用量の削減

- 冷房時28℃、暖房時22℃の設定とし温度・照明の徹底管理をします。(スイッチキーパーによる管理)
- クールビズ(6月～)、ウオームビズ(10月～)の励行を社長が率先して行います。
- PC、コピーの不必要時電源OFFもしくは節電モードにします。
- 社内照明のLED化を検討します。
- ブラインドやカーテンを利用し室内温度の適正化を図ります。



グリーンカーテン設置

#### 2)灯油使用量の削減

- 暖房は22℃とし、事務所不在時は18℃とします。
- ブラインドやカーテンを利用し室内温度の適正化を図ります。

#### 3)ガソリン・軽油使用量の削減

- エコドライブを心がけ、無駄なアイドリングはやめます。
- 車内の積載物を極力なくし、燃費の向上に努めます。
- 順次エコカーへの切り替えを心がけます。
- 毎月、ガソリン代の前年比較を掲示します。



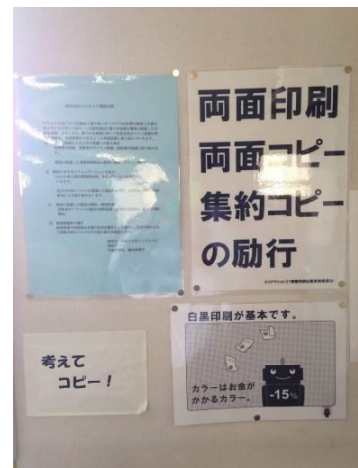
車載積載物削減促進

## 5-2.廃棄物排出量の削減

- 廃棄物の分別を徹底します。
- ペーパーレス、電子化を目指します。
- 両面コピー、集約コピーの励行をします。また、毎月社内で使用したコピー枚数を掲示します。
- カタログ、資料の整理をします。
- 在庫の徹底と仕入先への返品を徹底します。
- 段ボールの有効的なリサイクルをします。

## 5-3.排水量(水使用量)の削減

- 手洗い、食器洗浄において日常的に節水を励行します。
- 蛇口の水漏れがないか確認します。



ペーパーレス推進

## 6.環境経営目標の実績

対象取組期間における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

### 6-1.二酸化炭素排出量

#### 1)全体(目標:1%削減)

2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績	削減量 *1	削減率	評価 *2
93,699Kg-Co2	92,762Kg-Co2	90,745Kg-Co2	2,017Kg-Co2	2.1%	◎

【コメント】 電気使用にて 目標数字が達成できませんでしたが、他の項目の削減達成にて目標を上回ることができました。

#### 2)電力使用(目標:1%削減)

2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績	削減量 *1	削減率	評価 *2
48,774Kg-Co2	48,286Kg-Co2	48,752Kg-Co2	▲466Kg-Co2	▲0.9%	×

【コメント】 内勤作業が増えて、電気使用量が増えたと思われます。

節電の取り組みに努めます。

購入先:シン・エナジー株式会社(一H30年度実績ー R2.1.7環境省・経済産業省公表)  
調整後排出係数:0.592 kg-CO2/kWh を使用しております。

#### 3)ガソリン・軽油使用(目標:1%削減)

2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績	削減量 *1	削減率	評価 *2
37,148Kg-Co2	36,776Kg-Co2	34,974Kg-Co2	1,802Kg-Co2	4.8%	◎

【コメント】 営業車の随時入れ替え等もあり、燃費が良くなっていると思われます。

引き続きエコ運転に努めます。

#### 4)灯油・LPG使用(目標:1%削減)

2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績	削減量 *1	削減率	評価 *2
7,777Kg-Co2	7,700Kg-Co2	7,017Kg-Co2	683Kg-Co2	8.8%	◎

【コメント】 寒波により、灯油の使用量が増えたと思われます。

温度管理等の取り組みを行い、削減に努めていきます。

\*1・・・削減量・削減率の欄において、▲印はマイナス(増加)を示す。

\*2・・・評価:◎→達成できた ○→削減したが目標未達 △→昨年度とほぼ同じ ×→昨年度より増加



## 6-2.廃棄物排出量

### 産業廃棄物(目標:分別の徹底と現状把握)

分別についてゴミ回収業者より要望が多くあります。当社としてはその要望に沿う形で

分別に努力しています。

来期についてはより一層のペーパーレスにチャレンジしていきたいと思います。

2021.8月～2022.7月の合計実績値は下記の通りです。

廃棄物の種類	2021年度実績	2022年度実績	増減
可燃ごみ(焼却)	1,570 Kg	1,560 Kg	10 Kg
紙類(コピー用紙・段ボール他)	1,753 Kg	1,743 Kg	10 Kg
不燃ごみ(再資源化(缶・ビン))	380 Kg	230 Kg	150 Kg
発泡スチロール(焼却)	600 Kg	600 Kg	0 Kg
廃プラスチック	750 Kg	510 Kg	240 Kg
トナーカートリッジ	246 本	249 本	3 本

## 6-3.総排水量・水使用量(目標1%削減)

総排水量は、地下水は使用していないので水の使用量と等しくなります。

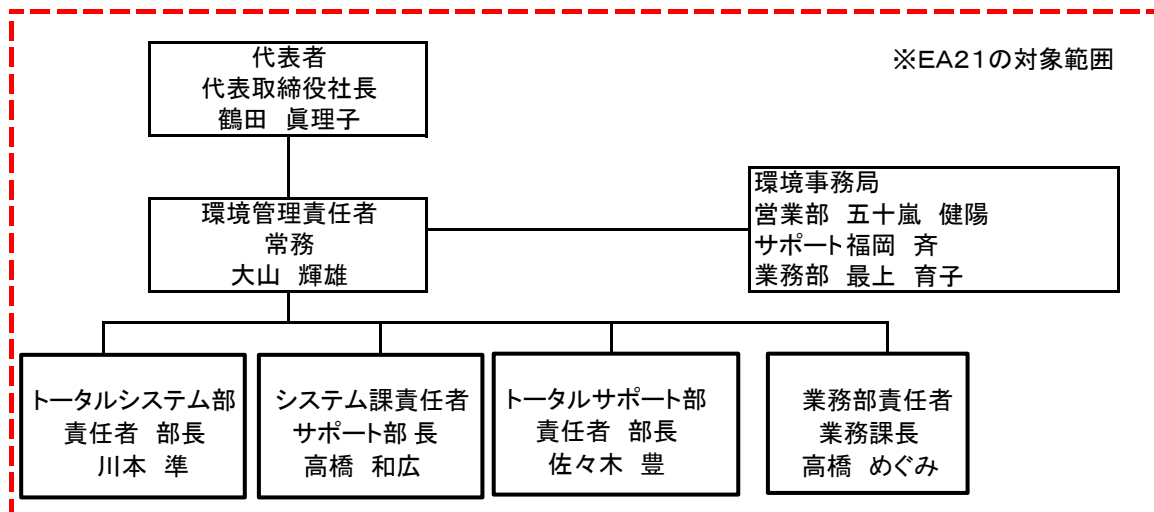
また当社敷地内にある印刷工場とメーターを共用しているためはっきりとした数字が出てきません。

前回からの増加となり、使用用途、使用頻度等 注視して見守りたいと思います。

引き続き、社内への啓蒙活動を行い、削減に努めていきます。

2021年度実績	2022年度目標	2022年度実績	削減量 *1	削減率	評価 *2
409 m <sup>3</sup>	405 m <sup>3</sup>	409 m <sup>3</sup>	▲ 4 m <sup>3</sup>	▲ 0.9%	×

## 6-5.株式会社ツルタック EA21実施体制図



**環境経営システム 役割・責任・権限表**

	役割・責任・権限
代表者(社長) 鶴田 眞理子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任。</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>・環境管理責任者を任命。</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を承認。</li> <li>・経営における課題とチャンスを整理し、明確にする。</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施。</li> <li>・環境活動レポートの承認。</li> </ul>
環境管理責任者 大山 輝雄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ票を承認。</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認。</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告。</li> <li>・環境活動レポートの確認。</li> </ul>
環境事務局 五十嵐 健陽 福岡 斉 最上 育子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。</li> <li>・環境目標・環境活動計画書原案の作成。</li> <li>・環境活動の実績集計。</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長(実施管理責任者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施。</li> <li>・自部門における環境方針の周知。</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・テスト、訓練を実施、記録の作成。</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

## 7-1.環境活動計画の取り組み状況の評価

○・・・十分に取組んだ    △・・・ある程度取組んだ    ×・・・取組不十分(未実施)    —評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量・灯油使用量の削減	■室内温度は、冷房28℃、暖房22℃の設定とする。	○
		■クールビズ(6月～)、ウオームビズ(10月～)の励行。	○
		■照明、PC、コピーの不必要時の電源OFFもしくは節電モードにすることを心がけて、ステッカー等にて意識の徹底を図る。	○
		■社内照明のLED化を検討する。	○
		■ブラインドやカーテンを利用し室内温度を適正化します。	○
		■残業を抑制し省エネに努める。	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	■エコドライブを心がけ、無駄なアイドリングをやめるようにする。	○
		■車内の積載物を極力無くし、燃費の向上に努める。	△
		■適切な車両整備をし、排ガス・騒音を抑制します。	-
		■順次エコカーへの切り替えをします。	△
	■毎月ガソリン代の前年比較を掲示します。	△	
廃棄物排出量の削減	■両面コピー・集約コピーの励行。		×
	■廃棄物の分別を徹底します。		○
	■ペーパーレス化・電子化を目指し、会議においてはプロジェクターを活用します。		△
	■カタログ・資料の整理をします。		○
	■在庫の徹底と仕入先への返品を徹底をします。		○
	■段ボールの有効的なリサイクルをします。		○
	■毎月の社内使用のコピー枚数を掲示します。		×
排水量の削減	■手洗い、食器洗浄等において、日常的に節水に努め、ステッカーにて啓発します。		○
	■蛇口の水漏れがないか確認します。		△
自らが生産・販売・提供する商品 (秋田杉間伐材製品)	■仕入先等よりグリーン購入認定商品などの情報を収集し、社内向けに情報を発信します。		×
	■お客様へエコ商品・リサイクル商品のPRをし販売の促進を目指します。		×
	■ホームページに当社の環境方針を紹介し広く理解を求めます。それと同時にエコ商品・グリーン購入についても紹介していきます。		△
	■リサイクルトナーの販売に力を入れるのと同時に具体的な販売数値を決めます。		△
	■ノベルティとして、秋田杉製品以外にもエコ商品やグリーン購入の対象となる商品の販売促進をしていきます。		○

## 7-2.次年度の取り組み内容

車種の変更などにより、エコドライブの必要性が高まったように思われます。

二酸化炭素排出量削減 主に 電気使用量及びガソリンの使用量削減を目指していきたいと思います。

## 8.環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果 並びに違反、起訴の有無

2022年11月21日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの起訴についても、過去3年間一度もありません。

環境関連法令等取りまとめ(順守評価)一覧表

		作成日：令和05年 8月 22日		作成者：福岡 斉
		評価日：令和05年 9月 13日		評価者：大山 輝雄
適用法令等	内 容	該当する設備・項目	順守項目	順守評価 ○ 適合 × 不適合
廃棄物 処理法	廃棄物の適正分別と保管場所の確保	・一般廃棄物 (紙・生ゴミなど) ・産業廃棄物 (金属類・ペットボトルキャップ・ 魔ガラス・乾電池)	廃棄物分別手順と保管場所の掲示	○  ○
フロン排出 抑制法	適切な場所への設置・及び機器の点検	業務用エアコン	点検等の履歴の記録・保存	○
家電 リサイクル法	家電製品を破棄する際、リサイクル料金を支払う	テレビ・冷蔵庫・洗濯機	市町村・小売業者への委託	
自動車 リサイクル法	車検時・新車購入時にリサイクル費用を支払う	業務車	車検時・新車購入時の記録	

## 9.代表者による全体評価と見直しの結果

### 9-1.環境経営システムの有効性の評価

一昨年より、エコアクションの基本理念を変更し、まだ 社員全員の行動・意識の変化が薄いと  
感じております。

この基本理念を、社員全員に周知し、エコアクションへの取り組みをさらに進めていきたいと思いを。

### 9-2.環境経営システム変更の必要性

現段階では、環境方針・環境目標・環境活動計画・システムの主要部分について、変更の必要はないと  
判断しています。

### 9-3.次年度以降の取り組みの方向性

エコアクションの活動を始めてから、燃料費、物価高騰が続いており  
品物等も値上げが続いております。

燃料高騰を踏まえ、エコドライブの10か条を周知し、より一層の燃費削減にむけ、  
目標クリアに向け進んで行きたいと思いを。